

ソーシャルメディアが創り出す学習・教育環境の光と影

FacebookやTwitterに代表されるように、人と社会をつなぐ新しいメディアとして登場してきたソーシャルメディアは、今や学びの環境にも新たな可能性を拓いている。特に、学校や職場といった物理的空間を超えて学習者個々をつないで学習コミュニティを形成し、なかでもインフォーマルな学習活動の活性化に資すると考えられており、現在理論的・技術的・実践的立場からソーシャルメディア基盤の学習・教育環境に関する様々な研究開発が進められている。

一方、ソーシャルメディアの活用がどのような効果を生み出せるのか、あるいは本当に学習や教育に有意義であるのかといったことは必ずしも明らかでなく、またこれまでに行われてきた協調学習支援などとの棲み分けも十分になされているわけではない。さらに、ソーシャルメディア基盤の学習・教育では何を・どのように評価すべきかについても今後議論を進めなければならない重要な課題となっている。

本シンポジウムでは、以上のような背景を踏まえて、ソーシャルメディアの学習・教育活用に関して、社会科学、情報技術、教育実践といった異なる専門家を一同に介し、多角的な視点からソーシャルメディアが創り出す学習環境の可能性について議論する。

フォーラムコーディネータ

不破 泰（信州大学）

プレゼンタ

上野 直樹（東京都市大学）

長谷川 忍（北陸先端科学技術大学院大学）

山川 修（福井県立大学）

松村 太郎（キャストリア）

指定討論者

青木久美子（放送大学）

村上 正行（京都外国語大学）